



上広谷児童館

Q 市内児童館の駐車場の改善を

この今野 ゆういち 雄一 議員



A 少しでも駐車しやすくなるよう、検討していく

問 市内児童館では、乳幼児親子参加型の定例行事が積極的に実施されている。利用者の満足度は。

答 アンケート結果では「イベントが楽しい」など、100%に近い保護者が「満足している」との結果となっている。

問 多くの親子が児童館で過ごす時間を必要としており、児童館の役割は大きくなっていると考えられるが。

答 子育て支援の機能が大変求められている。時代に沿った児童館を常に模索している。

問 上広谷児童館の利用者が最も多いが、駐車場の台数が最も少ない12台である。スペースも狭いため、駐車トラブルが多くなっている。駐車場改善の整備

予定は。

答 11月から埼玉県全域で思いやり駐車場制度が実施される。

現在は、砂利の駐車場であるが、今後とも利用しやすい駐車場の在り方を考えていく。

問 上広谷児童館近隣の若葉駅西口2号街区公園予定地の一部を駐車場としての活用を。

答 常時駐車場としての利用は難しいが、緊急な場合などには、関係部署と連携し、対応する。

◎**その他の質問** 一時的ストーマの助成制度を

Q 子どもへの施策について

おおそねひであき 大曾根英明 議員



A 関係機関と連携して取り組んでいる

問 全ての子どもたちの将来を夢と希望にあふれたものにするための子どもの貧困対策について。

答 食料支援などの情報発信サイトを運営するNPO法人カローレに、運営費用の一部を補助している。また、子育て家庭の経済状況についての相談には、

利用可能なサービスを案内し、関係機関が連携し対応している。

問 貧困の連鎖を断ち切るために、学習支援や就学援助など様々な事業を実施し、貧困が世代を超えて連鎖しないよう必要な事業を実施していく。

答 ヤングケアラーの現状について。

問 学校では、教職員が研修を通して理解を深め、早期に発見し、適切な支援につなげるよう努めている。

答 子どもへの自殺について。こども大綱の策定を見据え、施策の具体化に向けた検討を進める。鶴ヶ島のち支える自殺対策計画において、子ども、若者への支援を重点施策とし、相談支援の推進、児童・生徒のSOSの出し方に関する教育の推進に取り組んできた。今後も特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンクとも連携しながら取り組んでいく。

